I-O DATA

PCIバス搭載 PC98-NX及びDOS/Vマシン対応

15インチ TFT液晶ディスプレイ
＆デジタルインターフェイスボード

LCD-D15T

取扱説明書

8824-02

【ご注意】

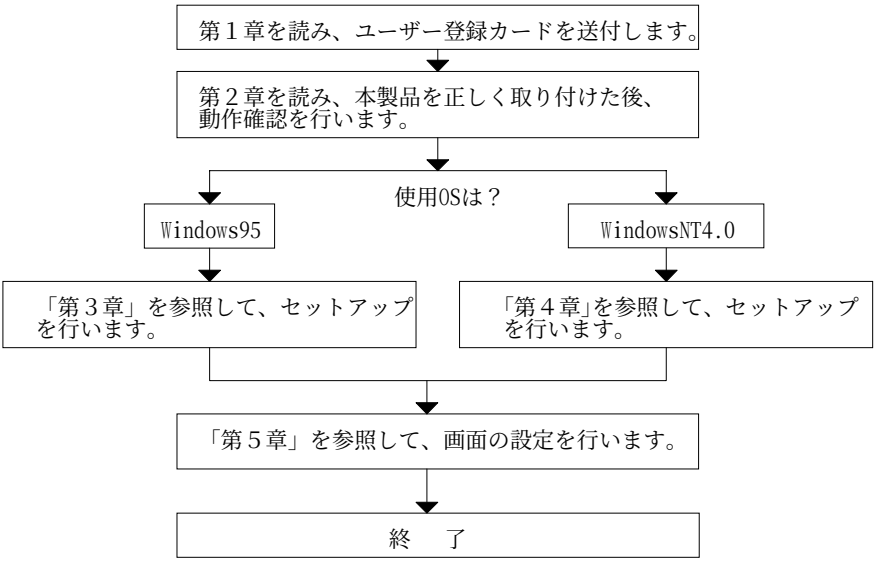
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- IBMは、IBM Corp.の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、15インチTFT液晶ディスプレイ＆デジタルインターフェイスボードLCD-D15Tをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本書をご覧になるにあたって

▪ 本書の見方



▪ 呼び方

呼び方	意　味
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
Windows	Windows95及びWindowsNT4.0の総称

▪ ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《ドライブ構成》

A：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置
ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROMドライブ装置

はじめに i
目次 iii

第１章 ご使用になる前に 1

1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 2
1.3 動作環境 4
1.4 取り扱い及び使用上の注意 5
1.5 実行用ディスクの作り方 8

第２章 取り付け方法 9

2.1 各部の名称 9
2.2 取り付け 11

第３章 日本語Windows95で使用するには １６

● インストールの前に 16
3.1 Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合 17
3.2 Windows95 4.00.950 Bの場合 18
3.3 インストール後の確認・設定 20

第４章 日本語WindowsNT4.0で使用するには ２４

4.1 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ 24

第５章　ディスプレイエフェクトを使おう……２８

5.1　ディスプレイエフェクトとは？……28
5.2　機能の概要……29

付録１　困った時には……４１

付録２　用語解説……４２

付録３　ハードウェア仕様……４５

サポートセンターへのお問い合わせ……47
サポートソフトのバージョンアップ……48
修理について……49

第1章 ご使用になる前に

この章では、15インチTFT液晶ディスプレイ＆デジタルインターフェイスボードLCD-D15Tをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

- 省スペースに最適。CRTディスプレイに比べ、わずかなスペースしかとりません。限られたスペースを有効に活用できます。
- 15型の大画面(CRTディスプレイ17型相当)。
  XGA(1024x768)対応の高解像度で表示できます。
- 液晶ディスプレイ背面にUSBハブを内蔵。USB対応の周辺機器を、ディスプレイに接続して使用できます。
- デュアル ビュー機能。液晶ディスプレイと、CRTディスプレイを同時に接続し、液晶ディスプレイとCRTディスプレイに異なる画面を表示できます。
- ステレオスピーカを内蔵。
- 低消費電力(消費電力25W、USB使用時最大35W)。同等画面サイズのCRTディスプレイに比べ約5分の1です。発熱量もはるかに少なくなっています。
- デジタル方式での表示の為高画質。
  (ビデオメモリのデジタルデータを、D/A及びA/Dコンバータを通さずダイレクトにディスプレイ表示しますので、データの劣化がほとんどありません。)
- 高速3Dグラフィックチップを採用。Direct 3Dに対応しています。
- DPMS(Display Power Management Signaling)に対応しています。Windows95の『画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』(「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細」→「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更」で「省電力ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」のチェックと「ｽｸﾘｰﾝｾｰﾊﾞｰ」→「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの省電力機能」の設定)で設定することにより、パソコンを使用していない時の液晶ディスプレイの消費電力を抑えます。

1.2 箱を開けたら

▪ 内容のご確認

No.	内容物	個数	備考
1	液晶ディスプレイ	1台	スタンド、接続ケーブル（2.8m）付き
2	デジタルインターフェイスボード	1枚	PCIバス用
3	3極/2極変換コネクタ	1個	
4	LCD-D15Tサポートソフト	1枚	3.5 インチ2HD(1.44MB)
5	取扱説明書	1冊	本書
6	ハードウェア保証書	2枚	
7	ユーザー登録カード	1枚	
8	Verシール	1枚	
9	ハードウェアシリアルNo.シール	2枚	
10	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

▪ ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。

いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品の当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1）添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシ

ール」と書かれている欄に貼ってください。

2）ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注 意

1）弊社では、サポートセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。

2）ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ（ユーザー登録カードの場合は必要なシールの貼り忘れなど）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

パソコン本体機種	PCI(Peripheral Component Interconnect) バス 2.1以降を搭載したPC98-NXシリーズまたはDOS/Vマシン※。
ソフト環境	・日本語Windows95 ・日本語WindowsNT4.0

※弊社では、日本IBM、富士通等のOADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

注 意

1)LCD-D15TのUSBハブはUSBバージョン1.0に準拠しております。規格以上の電流を消費する機器は利用できません。

2)USBハブを利用するためには、USBポートを搭載し、Windows95 OSR2.1以降がインストールされている本体が必要です。

・次の手順でUSBハブが利用可能か確認できます。

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ』の『ｼｽﾃﾑ』アイコンをダブルクリックしてください。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブをクリックしてください。

「ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ ｼﾘｱﾙ ﾊﾞｽ ｺﾝﾄﾛｰﾗ」が表示されていることを確認してください。

1.4 取り扱い及び使用上の注意

- ディスプレイセットの分解、改造をしないでください。分解により感電の恐れや、ディスプレイ内部の精密部品がこわれたり、故障の原因になります。
- 液晶パネルの表示部から漏れた液晶には触れないでください。誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗って、その後何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り石鹸で水洗いしてください。付着したまま放置すると皮膚や衣服を傷めることがあります。
- 表示面の割れたガラスに注意してください。表示面が破損したとき、ガラスの破片で手などを切らないように十分注意してください。モジュール表面は、ガラス板上にプラスチックフィルムを張り付けガラスが飛散しにくい構造となっていますが、万が一、切断面に触れますと怪我をすることがあります。
- 液晶ディスプレイ(LCD)内のバックライトの中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本製品は屋外で使用できる構造にはなっていないので、屋外で使用しないでください。長時間日のあたる場所、ストーブの前など極端に温度の変わる場所には設置しないでください。振動のある場所には設置しないでください。
- 落下などのような強い衝撃を与えないでください。表示面のガラスや内部のFL管を破損させたり、故障の原因となります。

- ◆ 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭くか、拭く前に軽く息を表示面に吹きかけてから拭き取ってください。それでもとれない場合は、石油ベンジンを軽く含ませた脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。このとき石油ベンジンがケースなど表示面以外につかないように注意してください。ケースや液晶モジュール内部はこの種の溶剤によって損傷することがあります。
- ◆ 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- ◆ 表示面に水滴などをつけて放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。
- ◆ 表示面のキズを防止するために、工具などの固いものを当てたり、押したり、こすったり、しないでください。また、表示面に工具などの重いものを乗せないでください。表示面に使用している偏光板は傷つき易く、表示面にキズやあとがついたり、破損する恐れがあります。
- ◆ 液晶ディスプレイは特性として、表示面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、故障あるいは不良ではありません。予めご了承ください。
- ◆ AC電源プラグは、必ず感電防止用アース接点のあるコンセントに適切に差し込んで使用してください。これを行わないと感電や故障することがあります。
- ◆ LCD-D15Tの取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体及び周辺機器の電源を切ってから行ってください。
- ◆ 他のグラフィックボードとの併用はできません。
  本製品を取り付ける前に、他のグラフィックボードは、取り外してください。
  詳細な取り外し方法はグラフィックボードメーカーにご確認ください。
- ◆ 本製品のデジタルインターフェイスボード及び液晶ディスプレイは専用のものです。他のデジタルインターフェイスボード及び他の液晶ディスプレイには絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

◆ デジタルインターフェイスボードに静電気が流れるとボード上の部品が破壊されるおそれがあります。入出力コネクタ部や部品面には直接手を触れないでください。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、ボードを取り付けたり取り外したりする前にスチール・キャビネットなどの金属製の物に触れて必ず静電気を逃がしてください。

◆ 本製品の内部の点検・調整・修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。修理等で本製品を送付する際は、「液晶ディスプレイ」、「デジタルインターフェイスボード」を一式セットで送付してください。内容物がそろっていないと、修理を受け付けられない場合があります。送付先は巻末を参照してください。

バックライトについての注意

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。

◆画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。
※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

◆ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源のスイッチをいったん切り、再度スイッチを入れ直してご確認ください。

◆バックライトは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

注 意

液晶パネルは非常に高価です。有償による液晶パネルの交換は高額になることを予めご了承ください。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは、必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下はフロッピィディスクドライブが Aドライブの場合）

- 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
- サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。
- **Windows95の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし『ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ』を選択します。

Windows95の例）

- サポートソフトウェアディスクと空きフロッピィディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

注 意

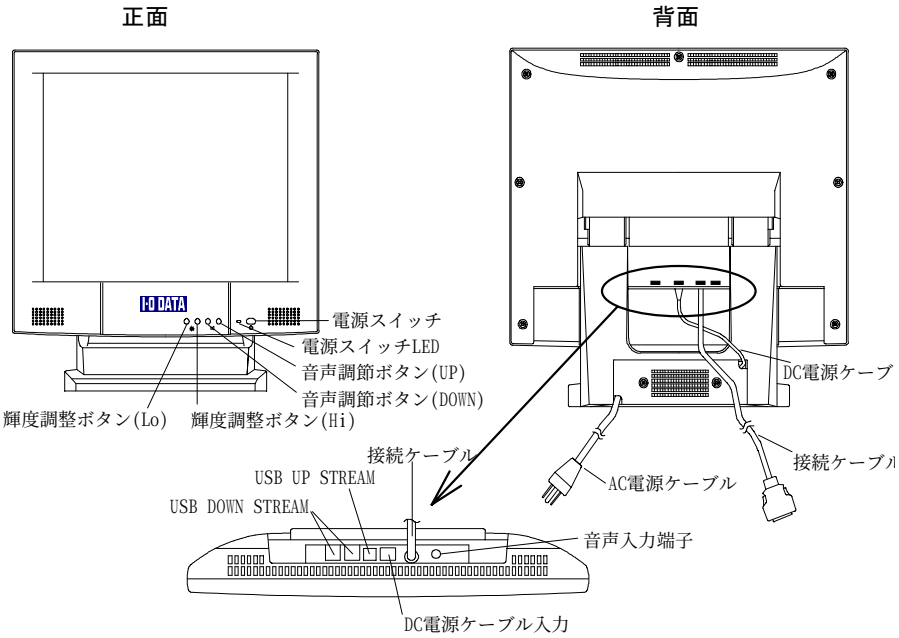
サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章 取り付け方法

この章では、LCD-D15Tのセットアップ（ボードをパソコン本体に取りつけ、液晶ディスプレイと接続する）方法を説明します。説明に沿って正しく操作してください。

2.1 各部の名称

● 液晶ディスプレイ



電源スイッチ　　：液晶ディスプレイの電源ON/OFFを切り替えます。
電源スイッチLED　　：電源の状態を表示します。
（電源ON時には、緑色に点灯）
音声調節ボタン(UP)※　：音量を上げます。
音声調節ボタン(DOWN)※：音量を下げます。
輝度調整ボタン(Hi)　：画面を明るくします。
輝度調整ボタン(Lo)　：画面を暗くします。

※「音声入力端子」より入力されている音声のみ有効です。

USB DOWN STREAM　　：USB接続ケーブルを利用し、USB機器を接続します。
USB UP STREAM　　：USB接続ケーブルを利用し、パソコンに接続します。
DC電源ケーブル　　:DC電源ケーブルが差し込まれています。
（取り外さないでください。）
音声入力端子　　：オーディオケーブルを接続します。

参 考

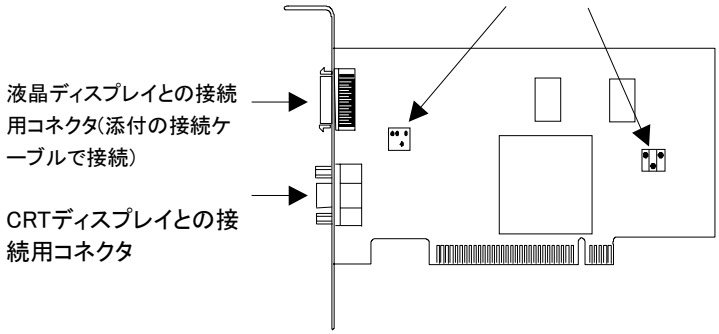
音声調節ボタン及び輝度調整ボタンを押下し、音声または輝度が最大または最小になると、電源スイッチLEDが点滅します。

注 意

感電や故障を防ぐため、AC電源プラグを必ず感電防止用アース接点のあるコンセントに適切に、差し込んで使用してください。

●デジタルインターフェイスボード

設定を変更しないでください。



2.2 取り付け

ここでは、パソコンへのデジタルインターフェイスボードの取り付け及び液晶ディスプレイの接続について説明します。

- パソコン本体への取り付け
  （デジタルインターフェイスボードの取り付け）

注 意

1)ボードの取り付け、取り外しの際は、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。
2)他のグラフィックアクセラレータ（マザーボード上のVGA機能やビデオカード）との併用はできません。本製品を取り付ける前に、無効にするか、取り外してください。

1 パソコンの電源スイッチを切り、周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。

2 パソコンのカバーを取り外します。取り外し方については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 空いているPCIバススロットのスロットカバーを取り外してください。
（PCIバスの位置、カバー等は、パソコンの取扱説明書を参照してください。）

4 PCIバススロットにデジタルインターフェイスボードを取り付けます。
デジタルインターフェイスボードがPCIバススロットに確実に装着されることを確認しながら押し込みます。
（ご使用のパソコンによっては、デジタルインターフェイスボードの部品面を下に向けて差し込む場合や垂直に差し込む場合などがあります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。）

5 PCIバススロットにデジタルインターフェイスボードが確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。

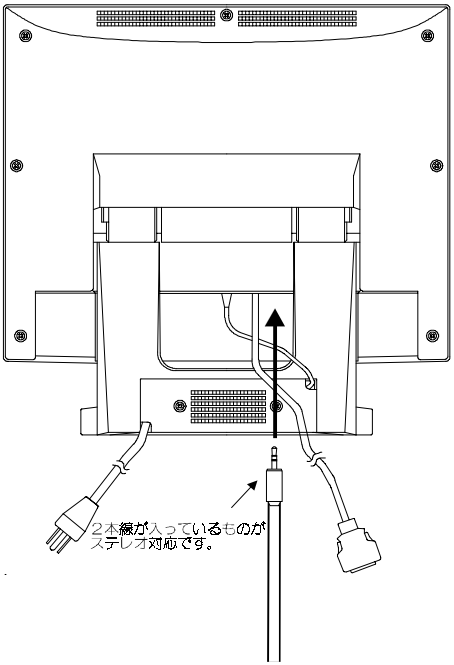
6 1や2で取り外された、パソコンのカバーと全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。

特に注意

デジタルインターフェイスボードは本製品の液晶ディスプレイ専用です。他の液晶ディスプレイには絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

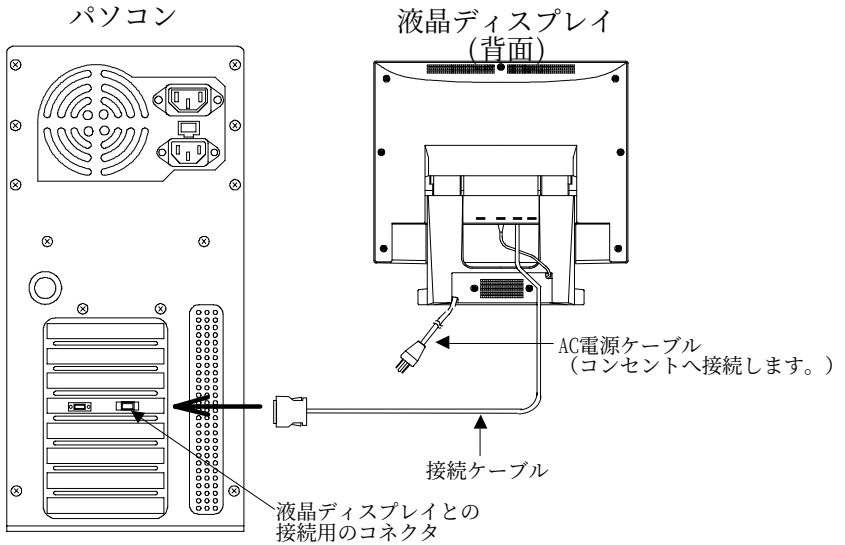
▪ オーディオケーブルの接続

液晶ディスプレイの音声入力端子とパソコン側のLINE OUT端子(サウンドボード等)に合ったオーディオケーブル(ステレオのミニプラグ)を電化製品販売店などでお求めの上、接続してください。



▪ 液晶ディスプレイとの接続

液晶ディスプレイとデジタルインターフェイスボードを接続します。
接続ケーブルで液晶ディスプレイとデジタルインターフェイスボードを接続してください。
AC電源ケーブルをコンセントへ接続する際、必要に応じて3極/2極変換コネクタをご利用ください。



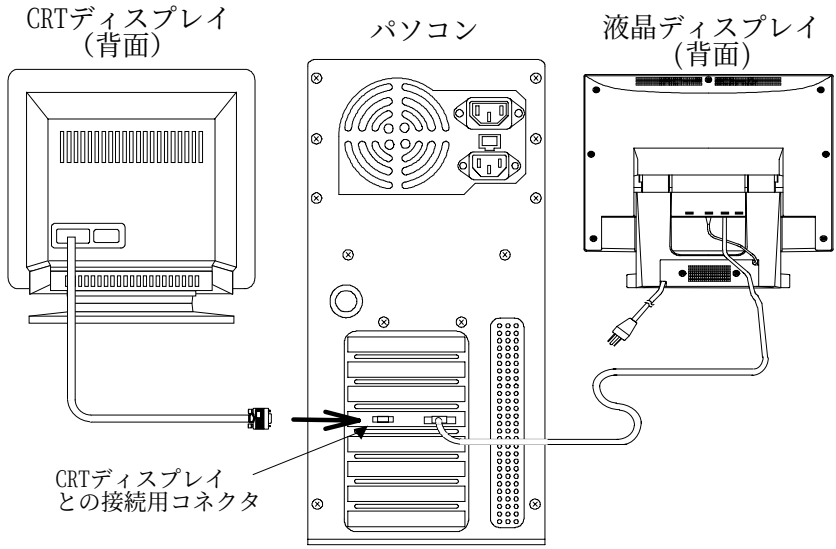
注 意

1)液晶ディスプレイは、添付のデジタルインターフェイスボードでのみ表示可能です。他のボード等には絶対に接続しないでください。
2)液晶ディスプレイへの各種ケーブル接続時は、やわらかい布等を敷き、液晶ディスプレイの表示面を下にして倒し、表示面にキズがつかないように作業を行ってください。
3)パソコンや本製品に電源が入っている状態でケーブルを抜き差ししないでください。

▪ CRTディスプレイとの接続

本製品は、液晶ディスプレイ以外に同時にCRTディスプレイの表示も可能です。(CRTディスプレイとの接続は、CRTディスプレイに添付のケーブルをお使いください。)

CRTディスプレイとデジタルインターフェイスボードを接続します。
CRT添付の接続ケーブルでCRTディスプレイとデジタルインターフェイスボードを接続してください。



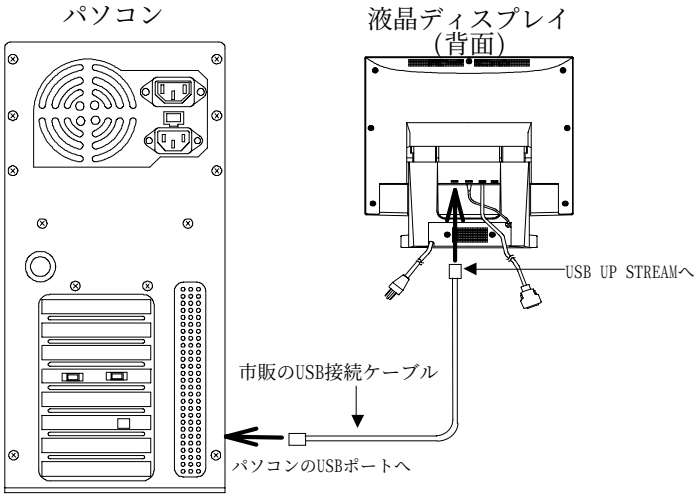
参照

液晶ディスプレイと CRT ディスプレイの同時利用、切替利用の方法は、【第5章 ディスプレイエフェクトを使おう】(P28)を参照してください。

▪ USBハブとパソコンの接続

液晶ディスプレイにUSB対応の周辺機器を接続する場合、液晶ディスプレイの
USB UP STREAMとパソコン本体のUSBポートを接続します。パソコン本体との接続には、
市販のUSB接続ケーブルをお使いください。

液晶ディスプレイのUSB UP STREAMとパソコン側のUSBポートに、市販のUSB接続ケーブルを接続します。



注 意

1)最初に液晶ディスプレイのUSB UP STRREAMとパソコンのUSBポートを接続すると、Windows95は新しいデバイス(汎用USBハブ)として登録を行います。この際、USB仕様のキーボード、マウス等の入力機器が液晶ディスプレイのUSB DOWN STREAMに接続されていると新しいデバイスの登録が行えません。登録後に差し替えてご利用ください。

2)液晶ディスプレイへの各種ケーブル接続時は、平らな面にやわらかい布等を敷き、液晶ディスプレイの表示面を下にして倒し、表示面にキズがつかないように作業を行なってください。

3)液晶ディスプレイの背面にUSBケーブルを接続する際は、接続位置をよくご確認の上、コネクタ部分を垂直に差し込んでください。コネクタ部分を斜めにした状態で無理に差し込むと、破損する恐れがありますのでご注意ください。

第3章 日本語Windows95で使用するには

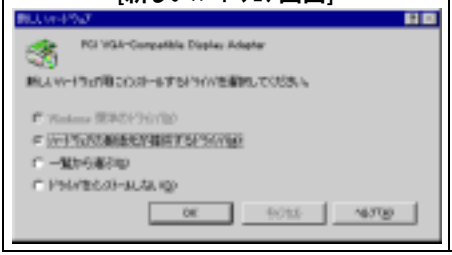
この章ではWindows95でLCD-D15Tを使用する際の設定について説明します。

Windows95でLCD-D15Tを使用するには、添付サポートソフトディスクから
Windows95用ドライバをインストールする必要があります。
ここでは、Windows95へのLCD-D15Tのドライバのインストール方法及びインストール後での確認･設定について説明します。インストールが正しく終了すると、LCD-D15Tが使用できるようになります。

● インストールの前に

Windows95のバージョンによりインストール方法が異なります。
(Windows95のバージョンには、「4.00.950」,「4.00.950a」,「4.00.950 B」があります。)
パソコン起動後、以下のどちらかの画面が表示されますので、表示された画面により各バージョンの項目をご覧ください。

[新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ画面]



[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ画面]

1) 『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示された場合
   Windows95のバージョンは「4.00.950」または「4.00.950a」です。
   --> 「3.1 Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合」(P17)をご覧ください。
2) 『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示された場合
   Windows95のバージョンは「4.00.950 B」です。
   --> 「3.2 Windows95 4.00.950 Bの場合」(P18)をご覧ください。

3.1 Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合

● インストール

1 液晶ディスプレイ及びパソコンの電源を入れ、Windows95を起動します。

2 しばらくすると、LCD-D15Tが自動検出され、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。
『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面の「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

3 フロッピィディスクドライブに「LCD-D15Tサポートソフト」ディスクを挿入します。
[配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元]には、フロッピィドライブの \win95 フォルダを入力後、[OK]ボタンをクリックします。インストールを開始します。
後は画面の指示に従ってください。

例）A:\win95（下線部入力：フロッピィディスクドライブが A ドライブの場合）

インストール終了後、一旦Windows95を再起動してください。
再起動後、次にインストール後の確認・設定を行ってください。
（【3.3 インストール後の確認・設定】（P20）参照）

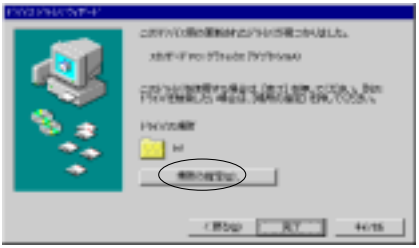
3.2 Windows95 4.00.950 Bの場合

● インストール

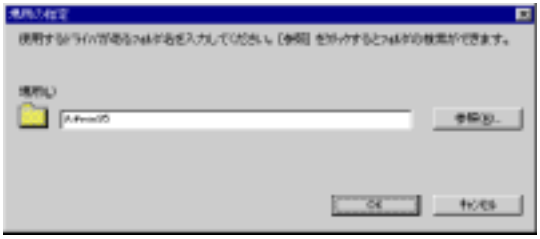
1 液晶ディスプレイ及びパソコンの電源を入れ、Windows95を起動します。

2 しばらくすると、LCD-D15Tが自動検出され、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。
「LCD-D15Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、[次へ]ボタンをクリックします。

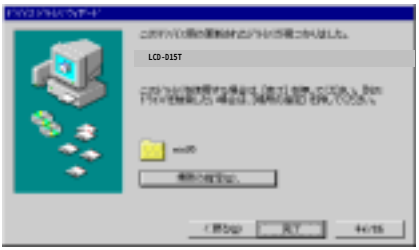
3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞPCI ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」
のメッセージがでたら、[場所の指定]ボタンをクリックします。



4 『場所の指定』画面では、[場所]にフロッピィドライブの \win95 フォルダを入力後、[OK]ボタンをクリックしてください。
例） A:\win95 （下線部入力：フロッピィディスクドライブが A ドライブの場合）



5 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。
　LCD-D15T」
のメッセージがでたら、[完了]ボタンをクリックします。



6 『ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ』画面では、フロッピィドライブの \win95 フォルダを入力後、[OK]ボタンをクリックしてください。インストールを開始します。
例） A:\win95 （下線部入力：フロッピィディスクドライブが A ドライブの場合）

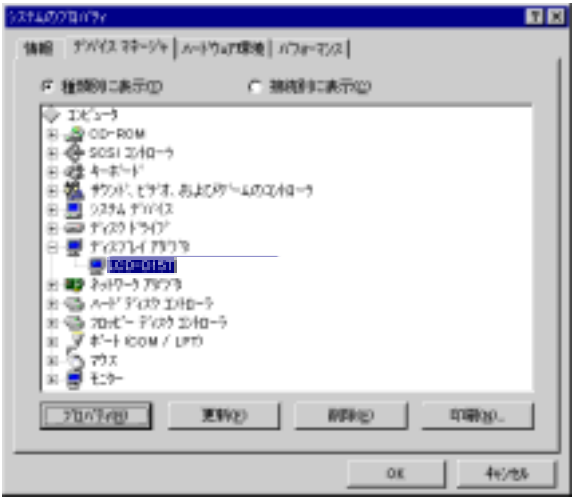
インストール終了後、Windows95を再起動してください。
再起動後、次にインストール後の確認・設定を行ってください。
（次ページの［3.3 インストール後の確認・設定］参照）

3.3 インストール後の確認・設定

ここでは、LCD-D15Tのドライバが正常にインストールされているかの確認と[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類]の設定（Windows95 4.00.950 Bの場合は[ﾓﾆﾀ]の設定）について説明します。

[確認事項]

『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ』の『ｼｽﾃﾑ』アイコンをダブルクリックしてください。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブをクリックしてください。
「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックして「LCD-D15T」が表示（登録）されていることを確認してください。
その際、頭に「!」マークが付いていないことを確認してください。
（「!」マークが付いていた場合は、競合しているデバイスを削除するか、「ﾘｿｰｽ」を変更してください。）



[ディスプレイの設定]または[モニタの設定]

ドライバが正常にインストールされているのを確認したら、次に[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更]または[ﾓﾆﾀ]の設定を行います。

1 **デスクトップ上(壁紙)でマウスを右クリックして『ﾒﾆｭｰ』を表示し、一番下の『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』をクリックします。『画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面が起動します。**

(『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』を選択して『画面』アイコンをダブルクリックしても『画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』が起動します。)

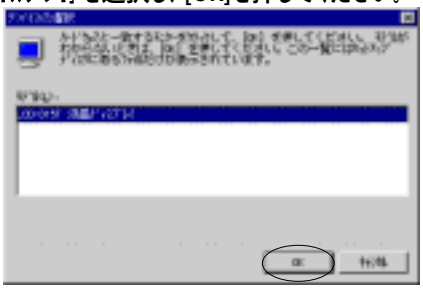
	Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合	Windows95 4.00.950Bの場合
2	「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細」タブをクリックし、[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更] ボタンをクリックします。 	「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細」タブをクリックし、[詳細ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ] ボタンをクリックします。
3	「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更」画面の[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類]→ [変更] ボタンをクリックします。 	「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面の[ﾓﾆﾀ]タブをクリックし、[変更]ボタンをクリックします。

4 「ﾃﾞﾊﾞｲｽの選択」画面で、「ﾃﾞｨｽｸ使用」ボタンをクリックしてください。

5 「ﾌﾛｯﾋﾟｨﾃﾞｨｽｸからｲﾝｽﾄｰﾙ」画面で、「LCD-D15Tサポートソフト」ディスクをフロッピィドライブに挿入し、フロッピィドライブの\WIN95フォルダを入力後[OK]ボタンをクリックしてください。

例) A:\WIN95 (下線部入力：フロッピィドライブがAドライブの場合)

6 「ﾃﾞﾊﾞｲｽの選択」画面で、[ﾓﾃﾞﾙ]一覧から、
「LCD-D15T 液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」を選択し、[OK]を押してください。



7 **後は、画面の指示に従って[OK]ボタンをクリックしてください。**

以上で設定終了です。この後、CRTディスプレイとの切り替え等を行う場合は、[第5章 ディスプレイエフェクトを使おう] (P28)を参照してください。

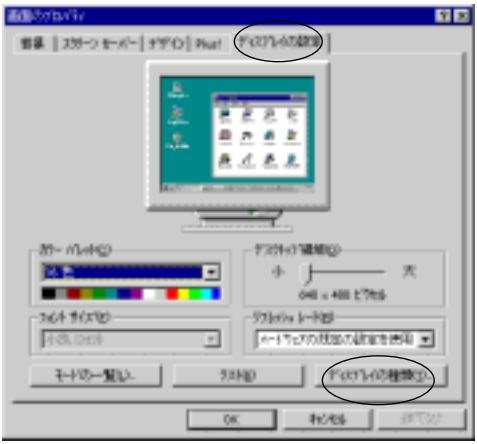
第4章 日本語WindowsNT4.0で使用するには

ここでは日本語WindowsNT4.0に対応したディスプレイドライバのセットアップ方法を説明します。

4.1 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ

1 【2.2 取り付け】(P11)を参照し、LCD-D15Tをパソコン本体に取り付け、液晶ディスプレイ及びパソコンの電源を入れ、WindowsNT4.0を起動します。

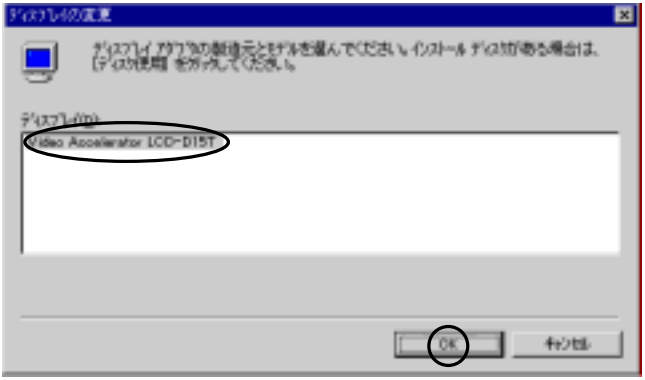
2 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の中の「画面」アイコンをダブルクリックします。『画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』ダイアログで「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの設定」を選択し、以下の画面を表示させてください。次に[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類]ボタンをクリックしてください。



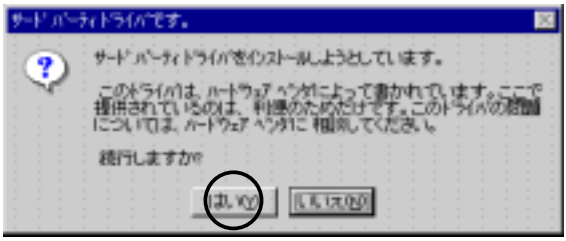
3 **以下の画面が表示されたら、[変更]ボタンをクリックしてください。**

4 **「LCD-D15Tサポートソフト」をフロッピィディスクドライブに入れ、**
『ﾌﾛｯﾋﾟｨﾃﾞｨｽｸからｲﾝｽﾄｰﾙ』のダイアログで、「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」に、
A:\WINNT40・
（下線部入力:フロッピィディスクドライブが A ドライブの場合）
と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

5 『ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更』ダイアログで、「Video Accelerator LCD-D15T」が選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。



6 ①「ｻｰﾄﾞﾊﾟｰﾃｨﾄﾞﾗｲﾊﾞを.....続行しますか?」と表示されますので
[はい]ボタンをクリックしてください。



②ファイルのコピーが終了したら、[OK]→[閉じる]→[閉じる]ボタンを順にクリックしてウィンドウをすべて閉じ、「LCD-D15Tサポートソフト」をフロッピィディスクドライブから抜いてください。

③『ｼｽﾃﾑの変更』画面で、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀを再起動しますか」と聞いてきますので[はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動させてください。

以上で設定は完了です。

参 照

画面のモードを変更する際は、［第5章 ディスプレイエフェクトを使おう］(P28)を参照してください。「解像度」、「色数」、「ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ」の変更は、必ず『ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ』の「解像度変更」を使用してください。（『ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細』でこれらの設定を行わないでください。）

第5章 ディスプレイエフェクトを使おう

この章では、Windows95またはWindowsNT4.0で、LCD-D15Tを活用するためのツールである「ディスプレイエフェクト」について説明します。

5-1 ディスプレイエフェクトとは？

ディスプレイエフェクトには、Windows95またはWindowsNT4.0で、LCD-D15Tを活用するための様々なツールが入っています。ぜひ、活用して快適な作業環境を実現してください。

注 意

Windows95をお使いの場合
ディスプレイエフェクトをご使用になる際には、予めDirectX3以降をインストールしておいてください。
DirectX5は下記ホームページよりダウンロードできます。
「http://www.microsoft.com/msdownload/directx/dxf/enduser5.0/dx5dosv.asp」
(1998年4月現在、予告なく変更になる場合があります。)

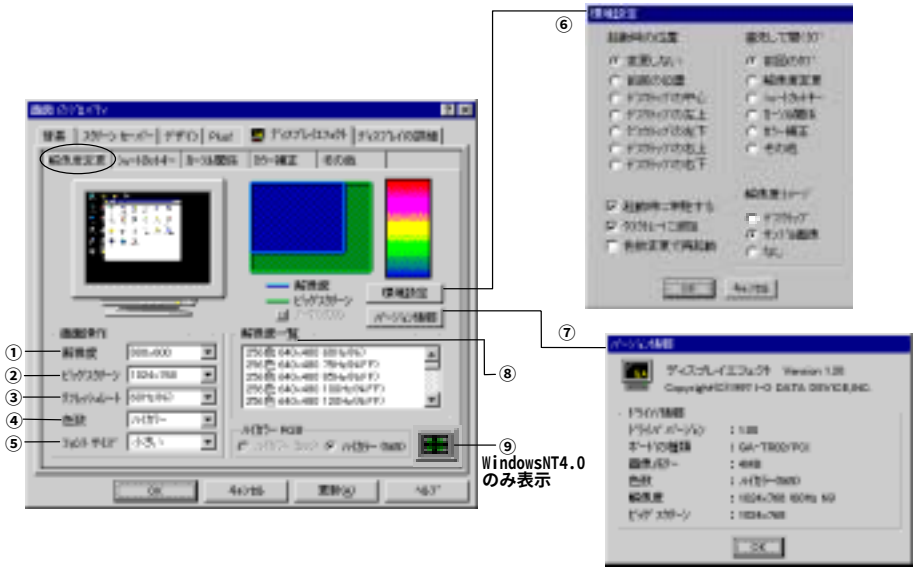
《起動方法》

Windows95またはWindowsNT4.0を起動後、壁紙を右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」→『画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』→「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ」をクリックしてください。

5.2 機能の概要

(解像度変更)

解像度･色数･フォントサイズなどの変更を行います。



番号	名称	機能
①	解像度	実際にﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲに表示される、解像度のｻｲｽﾞを設定します。そのｻｲｽﾞでの大まかなｲﾒｰｼﾞは、左上のﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｲﾒｰｼﾞでつかめます。
②	ﾋﾞｯｸﾞｽｸﾘｰﾝ	Windowsで使用するﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟのｻｲｽﾞを設定します。ここでは、解像度よりも大きいｻｲｽﾞを設定できます。画面外の領域については、ｽｸﾛｰﾙを行うことでﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲに表示できます。解像度とﾋﾞｯｸﾞｽｸﾘｰﾝの比率は、右上に表示されます。ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰの場合は使用できません。
③	ﾘﾌﾚｯｼｭﾚｰﾄ	各解像度でのﾘﾌﾚｯｼｭﾚｰﾄを設定します。
④	色数	Windowsで使用する色数の設定を行います。

番号	名称	機能
⑤	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	ｼｽﾃﾑﾌｫﾝﾄｻｲｽﾞの設定を行います。
⑥	環境設定ﾎﾞﾀﾝ	『環境設定』画面が表示されます。『環境設定』画面では、ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄの設定を行います。 【起動時の位置】 ﾀｽｸﾄﾚｰの「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」ｱｲｺﾝを左ｸﾘｯｸした時に起動される、画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨの位置を指定できます。 【優先して開くﾀﾌﾞ】 ﾀｽｸﾄﾚｰの「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」ｱｲｺﾝを左ｸﾘｯｸした時に、開くﾀﾌﾞを指定できます。 【起動時に常駐する】 ﾁｪｯｸすると、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」ｱｲｺﾝがWindows起動時にﾀｽｸﾄﾚｰに常駐します。 【ﾀｽｸﾄﾚｰに追加】 ﾁｪｯｸすると、その時点で「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」ｱｲｺﾝがﾀｽｸﾄﾚｰに常駐し、ﾁｪｯｸを外すと終了します。 【色数変更で再起動】 解像度変更ﾀﾌﾞで色数を変更した時に、再起動するようにします。(Windows95では色数を変更後、再起動を行わないと、ｱｲｺﾝや画面の一部において色がおかしくなるなどの現象が発生することがあります。動作上問題がある場合は、これをﾁｪｯｸしてください。) 【解像度ｲﾒｰｼﾞ】 解像度変更ﾀﾌﾞのﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲのｲﾒｰｼﾞ表示に関する設定を行います。 **ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ**‥‥ｲﾒｰｼﾞ表示は実際のﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟの画面ｲﾒｰｼﾞを縮小して表示します。これが一番ｲﾒｰｼﾞをつかみやすいのですが、ｲﾒｰｼﾞ用にﾒﾓﾘを大量に使いますので、ﾒｲﾝﾒﾓﾘの少ないﾏｼﾝでは、ｽﾜｯﾌﾟが発生して非常に遅くなります。 **ｻﾝﾌﾟﾙ画像**‥‥ﾂｰﾙ側で予め用意したｲﾒｰｼﾞを縮小して表示します。これでもある程度のｲﾒｰｼﾞはつかめます。ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟよりも高速です。 **なし**‥‥‥‥‥ｲﾒｰｼﾞ表示をしません。ｲﾒｰｼﾞはつかめませんが、これが一番高速です。

番号	名称	機能
⑦	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報ﾎﾞﾀﾝ	『ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報』画面が表示され、ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄのﾊﾞｰｼﾞｮﾝの他に、ﾄﾞﾗｲﾊﾞに関する情報が表示されます。 ・**ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾊﾞｰｼﾞｮﾝ**･･･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲﾄﾞﾗｲﾊﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。 ・**ﾎﾞｰﾄﾞの種類**･････使用しているｸﾞﾗﾌｨｯｸﾎﾞｰﾄﾞの名称を表示します。 ・**画像ﾒﾓﾘｰ**･･･････ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾎﾞｰﾄﾞの画像ﾒﾓﾘのｻｲｽﾞを表示します。 ・**色数**･･･････････現在の色数を表示します。 ・**解像度**･･･････････現在の解像度を表示します。 ・**ﾋﾞｯｸﾞ ｽｸﾘｰﾝ**･････現在のﾋﾞｯｸﾞｽｸﾘｰﾝのｻｲｽﾞを表示します。
⑧	解像度一覧	設定可能な色数･解像度･ﾘﾌﾚｯｼｭﾚｰﾄの組み合わせを表示します。ここで、ｸﾘｯｸしたﾓｰﾄﾞにより、左の[画面操作]の設定内容が変更されます。
⑨	NT解像度変更ﾎﾞﾀﾝ	WindowsNT4.0解像度変更及び色数変更の決定は、全てこのﾎﾞﾀﾝで行ってください。[OK]や[適応]では変更できません。Windows95では表示されません。

注 意

ディスプレイエフェクト(ドライバ)のインストール後は、タスクトレーに「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコンは常駐していません。
ショートカットキーなどを使う場合は、前ページ⑥『環境設定』での「起動時に常駐する」または、「ﾀｽｸﾄﾚｰに追加する」にチェックしてください。

「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコン

⟨ショートカットキー⟩

ディスプレイエフェクトの機能に対するショートカットキーの設定を行います。

注 意

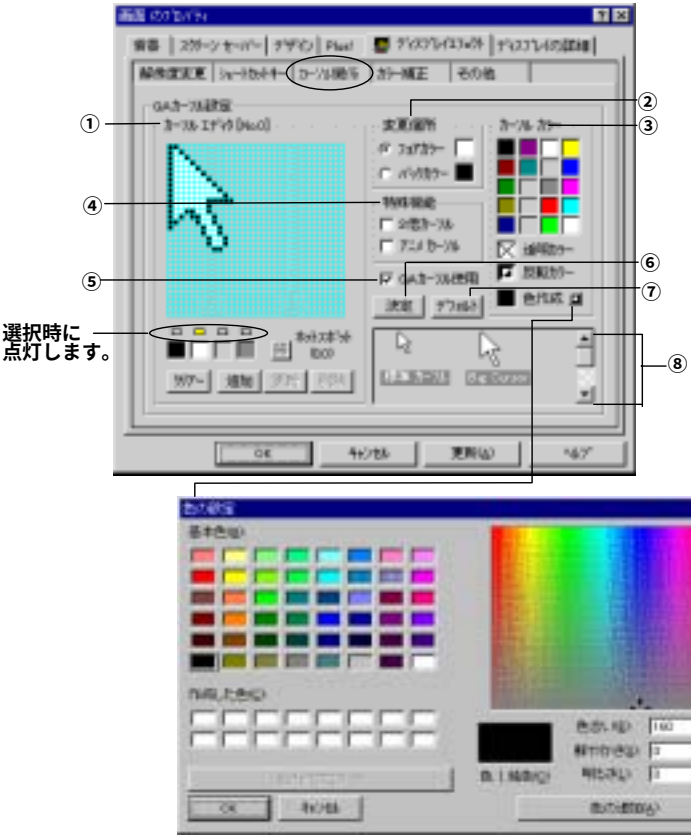
参 考

1)タスクトレーに「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコンがない場合や「画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が開いている時は、ショートカットキーは使用できません。
ショートカットキーを使用する場合は、《解像度変更》画面で「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコンを常駐(前ページ注意事項参照)させ、「画面のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を閉じてください。
2)《解像度変更》画面(P29)の⑥『環境設定』で「色数変更で再起動」をチェックしている場合は、ショートカットキーでの色数の変更はできなくなります。
3)他のアプリケーションをご使用中に、ショートカットキーが競合しないように設定変更が必要になる場合があります。

番号	名称	機能
①	解像度変更のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ	解像度の変更に対するｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰの設定を行います。 ｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰで、ﾀﾞｲﾚｸﾄに解像度が切り替わります。ｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰを設定するには、まず解像度を選択し、ｷｰﾘｽﾄから入力するｷｰを選択します。「SHIFT」や「CTRL」または「ALT」を押しながら、そのｷｰを押した時に解像度を変えるようにしたい時は、それぞれに対応したﾎﾞﾀﾝを押して、ﾎﾞﾀﾝをONにします。
②	ｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰの一覧	ｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰを設定した解像度のみを表示したいときﾁｪｯｸします。
③	全消去ﾎﾞﾀﾝ	解像度変更のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰの設定を全て解除します。
④	無効	それぞれ「解像度変更のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ」または「その他のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ」を、一時的に無効にしたいときﾁｪｯｸします。
⑤	その他のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ	ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄのﾀﾌﾞｼｰﾄのｵｰﾌﾟﾝや、各機能の実行に対応するｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰの設定を行います。
⑥	ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾎﾞﾀﾝ	その他のｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰの設定をﾃﾞﾌｫﾙﾄに戻します。

(カーソル関係)

カーソルの色･形状についての設定を行います。



色の設定ﾀﾞｲｱﾛｸﾞは、ｶｰｿﾙ関係ﾀﾌﾞで色作成ﾎﾞﾀﾝを押したときに表示されます。
このﾀﾞｲｱﾛｸﾞで、新たなｶｰｿﾙｶﾗｰを作成します。使用方法はWindows標準のものと同じです。

注 意

LCD-D15Tの256色モードの場合、「色作成」は使用できません。

番号	名称	機能
①	ｶｰｿﾙ　ｴﾃﾞｨﾀ	ｶｰｿﾙの形状の編集を行います。まず、下の4つのﾎﾞｯｸｽで設定する色を選択します。黒のﾎﾞｯｸｽはﾊﾞｯｸｶﾗｰ、白のﾎﾞｯｸｽはﾌｫｱｶﾗｰ、明るいｸﾞﾚｰのﾎﾞｯｸｽは透明色、暗いｸﾞﾚｰのﾎﾞｯｸｽは反転になります。ﾎｯﾄｽﾎﾟｯﾄ(ｶｰｿﾙの指し示す位置)の設定は、ﾎｯﾄｽﾎﾟｯﾄのﾎﾞﾀﾝを押すとﾎｯﾄｽﾎﾟｯﾄ設定ﾓｰﾄﾞになるので、それから設定したい座標でｸﾘｯｸしてください。 【ｸﾘｱｰﾎﾞﾀﾝ】選択されている色ですべてを塗りつぶします。 【追加ﾎﾞﾀﾝ】右下のﾘｽﾄに現在の形状を追加することができます。実際にｶｰｿﾙに反映させたいときは、決定ﾎﾞﾀﾝを押してください。 【更新ﾎﾞﾀﾝ】編集するときに右下のﾘｽﾄから選択したｶｰｿﾙに上書きします。 【削除ﾎﾞﾀﾝ】右下のﾘｽﾄで選択したｶｰｿﾙをﾘｽﾄから削除します。
②	変更箇所	ｶｰｿﾙ　ｶﾗｰで変更する場所を選びます。
③	ｶｰｿﾙ　ｶﾗｰ	ｶｰｿﾙのﾌｫｱｶﾗｰ(ﾌｫｱｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｶﾗｰ)、ﾊﾞｯｸｶﾗｰ(ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｶﾗｰ)の色を設定します。各色のﾎﾞｯｸｽを選択すれば、その色に変更します。 透明ｶﾗｰ、反転ｶﾗｰは、ﾌｫｱｶﾗｰやﾊﾞｯｸｶﾗｰを透明、反転にします。 ここにある色以外の色を設定したいときは、色作成ﾎﾞﾀﾝで色を作成して、左のﾎﾞｯｸｽを選択してください。
④	特殊機能	【2倍ｶｰｿﾙ】ｶｰｿﾙのｻｲｽﾞを縦横それぞれ2倍にします。 【ｱﾆﾒｶｰｿﾙ】ｶｰｿﾙのﾌｫｱｶﾗｰ、ﾊﾞｯｸｶﾗｰの色をﾘｱﾙﾀｲﾑに変え続けます。

番号	名称	機能
⑤	GAｶｰｿﾙ使用	通常はﾁｪｯｸされていません。 ＊ ﾁｪｯｸ無しの場合は、ｶｰｿﾙｶﾗｰや特殊機能やｶｰｿﾙ形状の変更をして、[更新],[OK]を実行しても、次回立ち上げ時（「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ」、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動ｱｲｺﾝ」の起動時）には影響しません。 ＊ ﾁｪｯｸありの場合は、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ」や「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」ｱｲｺﾝの起動時に強制的にGAｶｰｿﾙに変更します。
⑥	決定ﾎﾞﾀﾝ	①「ｶｰｿﾙ　ｴﾃﾞｨﾀ」の内容を、実際にｶｰｿﾙに反映させたいときは、「決定ﾎﾞﾀﾝ」を押してください。 「決定ﾎﾞﾀﾝ」は、一時的にｶｰｿﾙ形状を変更しますが、ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄを終了したらﾃﾞｰﾀはなくなります。ﾃﾞｰﾀの保存は、①「ｶｰｿﾙ　ｴﾃﾞｨﾀ」の[追加]または[更新]で行ってください。
⑦	ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾎﾞﾀﾝ	②「変更箇所」、③「ｶｰｿﾙｶﾗｰ」、④「特殊機能」での設定をﾃﾞﾌｫﾙﾄに戻します。
⑧	ｶｰｿﾙﾘｽﾄ	①「ｶｰｿﾙ　ｴﾃﾞｨﾀ」で編集したいｶｰｿﾙを選べます。 名前をクリックすれば、名前の変更ができます。

注意

カーソルがソフトウェアカーソルの場合は③「ｶｰｿﾙｶﾗｰ」、④「特殊機能」は使用できません。ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰ使用時はソフトウェアカーソルになります。

参考

カーソルがハードウェアカーソルでない場合は、②「変更箇所」、③「ｶｰｿﾙｶﾗｰ」、④「特殊機能」は使用できません。以下の方法でハードウェアカーソルに設定してください。

〈設定方法〉

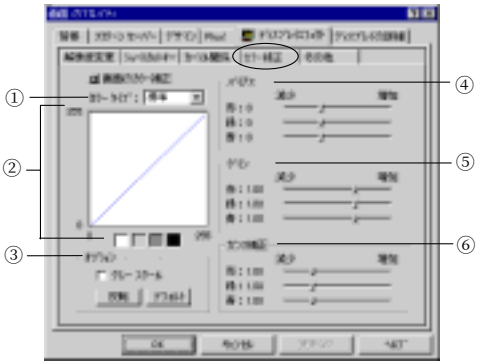
『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の『ﾏｳｽ』アイコンをダブルクリックし、「ﾏｳｽのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面を開きます。「ﾎﾟｲﾝﾀ」タブで「標準設定」ボタンを押し、次に「動作」タブでの「ﾎﾟｲﾝﾀの軌跡」のチェックを外してください。上記②～④での設定が行えるようになります。

(カラー補正)

ディスプレイに表示する色の調整を行います。
このメニューは、使用するディスプレイによって表示特性が異なるため、それを吸収すること及び、画面と印刷物の色合いの違いを調整することを目的としています。

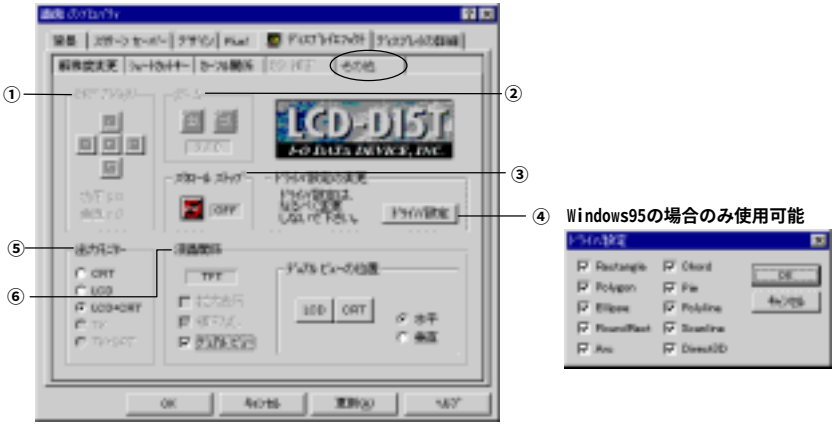
注 意

ハイカラー、フルカラーのカラー補正は明るさのみ変更できます。赤、緑、青を別々に変更することはできません。また、グレースケールと反転も使用できません。



番号	名称	機能
①	ｶﾗｰ ﾀｲﾌﾟ	4種類まで登録できます。
②	ｸﾞﾗﾌ	赤・緑・青それぞれのﾊﾞｲｱｽ・ｹﾞｲﾝ・ｶﾞﾝﾏ補正の設定の結果が表示されます。横の目盛りは色の入力、縦の目盛りは色の出力を表わします。ｸﾞﾗﾌのﾊﾞｯｸの色は、下の4つのﾎﾞｯｸｽをｸﾘｯｸすることで変更できます。
③	ｵﾌﾟｼｮﾝ	【ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ】色の表示をﾓﾉｸﾛ256階調にします。 【反転ﾎﾞﾀﾝ】現在の色の調整をすべて反転させます。 【ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾎﾞﾀﾝ】すべての設定をﾃﾞﾌｫﾙﾄに戻します。
④	ﾊﾞｲｱｽ	画面の明るさを調整します。
⑤	ｹﾞｲﾝ	ｺﾝﾄﾗｽﾄを調整します。ｺﾝﾄﾗｽﾄの高い画像は、白黒タイルの床のようにとてもはっきりした感じになります。ｺﾝﾄﾗｽﾄの低い画像は、霧の中の風景のようにぼやけて色褪せた感じになります。
⑥	ｶﾞﾝﾏ補正	画面の中間の明るさを変更できます。

(その他)



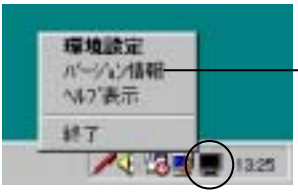
番号	名称	機能
①	CRTｱｼﾞｬｽﾄ	ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの表示位置調整を行います。上下左右の矢印ﾎﾞﾀﾝで移動できます。真ん中のﾎﾞﾀﾝで水平･垂直とも「0」に戻ります。CRTのみの場合に使用できます。
②	ｽﾞｰﾑ	LCD-D15Tでは使用できません。
③	ｽｸﾛｰﾙ ｽﾄｯﾌﾟ	ﾋﾞｯｸﾞｽｸﾘｰﾝのとき、画面のｽｸﾛｰﾙを止めることができます。ﾎﾞﾀﾝをもう一度押すと解除になります。ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰの場合は設定できません。
④	ﾄﾞﾗｲﾊﾞ設定	ﾄﾞﾗｲﾊﾞの設定を変更します。Windows95でのみ使用できます。チェックされている項目はハードウェアで動作します。 チェックをはずすとソフトウェアで動作します。
⑤	出力ﾓﾆﾀｰ	LCD-D15Tでは、「CRT」、「LCD」、「LCD+CRT」での選択ができます。 **CRT**……CRTディスプレイのみに映像が出力されます。 **LCD**……液晶ディスプレイのみに映像が出力されます。 **LCD+CRT**…CRTディスプレイ及び液晶ディスプレイに映像が出力されます。ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰを使用する場合はこの設定にします。
⑥	液晶関係	液晶の機能を変更します。

		拡大表示……液晶ﾓﾆﾀｰを拡大して表示します。出力ﾓﾆﾀｰを「LCD」または「LCD+CRT」に設定し、解像度が640×480または800×600の場合に使用できます。 **補正無し**……色数をﾌﾙｶﾗｰにした場合のみ使用できます。 **(ディザ)**　（ディザリングによる1,677万色表示の有無） **ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰ**…LCDとCRTを使用し（並べて）、2倍の解像度で作業することができます。 例えば、普通の1024×768の「LCD+CRT」の場合は、同じ画面がLCDとCRTに表示されているだけですが、ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰの場合は2048×768（横に並べた場合）または、1024×1536（縦に並べた場合）として、使用できます。 **[ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰの位置]** …ﾃﾞｭｱﾙ ﾋﾞｭｰをどのように使うか（ﾓﾆﾀｰをどう並べるか）を決定します。

注 意

デュアルビュー使用中のマウスポインタは、「ソフトウェアカーソル」になります。

● 補足



「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコン

タスクトレーの「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」アイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。(左クリックすると、ディスプレイエフェクトが起動します。)

- **「環境設定」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。**
- **「ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報」を選択すると、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」のバージョン情報ダイアログが表示されます。「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」のバージョンの他に、ドライバに関する情報を表示します。ドライバ情報については、ディスプレイエフェクトのバージョン情報と同じです。**
- **「ﾍﾙﾌﾟ表示」を選択すると、ヘルプが表示されます。**
- **「終了」を選択すると、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｴﾌｪｸﾄ起動」が終了します。**

付録1 困った時には

電源を入れた直後から画面になにも表示されない

原因1 液晶ディスプレイの電源が入っていない場合があります。

対処 液晶ディスプレイの電源が入っているか、液晶ディスプレイの電源ランプが点灯しているか確認してください。

原因2 液晶ディスプレイの輝度が最小となっている場合があります。

対処 液晶ディスプレイの輝度調整ボタン(Hi)で輝度を調整してみてください。

原因3 LCD-D15Tが正しく取り付けられていない場合があります。

対処 電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルインターフェイスボードの接続をやり直してください。

画像が小さい、または歪んでいる

原因1 LCD-D15Tが正しく取り付けられていない場合があります。

対処 電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルインターフェイスボードの接続をやり直してください。

原因2 ディスプレイボードからの入力ビデオ信号が、ディスプレイの解像度の範囲を超えている場合があります。

対処 解像度の調整を行ってみてください。

表示される画像の色がおかしい

原因1 LCD-D15Tが正しく取り付けられていない場合があります。

対処 電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルインターフェイスボードの接続をやり直してください。

原因2 磁気を帯びたものが近くにある。

対処 磁気を帯びたものからパソコン本体及びディスプレイを遠ざけてください。

付録2 用語解説

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA(Video Electronics Standards Association)が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御する為の規格。省電力機能は、ディスプレイのHSYNC、VSYNC（水平/垂直走査周波数）を制御することでReady，Standby、
Suspend、Offの4つの節電レベルを可能とします。

DSTN(Dualscan STN)

単純マトリックス方式のSTN液晶ディスプレイの一種。STN液晶よりは、コントラストを改善し、画面の大型化ができるため、STN液晶の中で主流となっています。

STN(Super Twisted Nematic)

単純マトリックス型液晶の一種。

TFT(Thin Film Transfer liquid crystal)

アクティブ・マトリックス型液晶の一種。液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。

現状、他の液晶技術（STN,DSTN等）に比べ、品質面では最も優れています。

アナログ入出力(液晶パネル製品での)

アナログデータをコンピュータから入力したり、出力したりすること。

コンピュータ内では、デジタルデータしか扱わないが、CRTディスプレイ等では、アナログデータを扱うため、D/A及びA/Dコンバータが必要となります。

インタレース表示

まず、画面の左上から奇数ラインだけを走査し、再び左上に戻り、今度は偶数ラインを走査するという走査方式です。1画面表示するのに電子ビームが2回走査する必要があります。この走査方式は、走査周波数が低いのでディスプレイの種類により画面がちらつく場合があります。チラツキは垂直解像度が高くなれば、よけいに目立ちますので、チラツキが多い場合は解像度を低くするか、ノンインタレースフリッカーフリー表示かノンインタレース表示を選びます。

デジタル入出力

デジタルデータをコンピュータから入力したり、出力したりすること。

本製品は、ビデオメモリのデジタルデータを、D/A及びA/Dコンバータを通さずダイレクトにディスプレイ表示していますので、データの劣化がほとんどありません。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。

パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ドット抜け

TFTパネル等平面パネルは、非常に高度な技術を使用していますが、生産過程の諸条件により液晶格子の一部が上手く形成されない場合があります。

現在の技術は99.99%以上の精度で液晶格子が形成されています。すべて完全な液晶格子を形成することは現在の技術水準でも難しいのが現状です。

ハードウェアカーソル

画面上のグラフィックとは別に、ハード的に描画されているカーソルです。
画面描画とは関係なく動作しているので画面描画には影響しません。

ソフトウェアカーソル

画面上のグラフィックに直接描画されているカーソルです。画面描画と同様にカーソルも描画するので、ハードウェアカーソルに比べて遅くなります。

ノンインタレース表示

画面の左上から右下まで1ラインごとに全ラインを1度に走査する走査方式です。1画面表示するのに1回の走査ですむ代わり、電子ビームを速く動かす必要があります。そのため、インタレース表示より高い周波数が必要になりますが、インタレース表示よりはチラツキが少なくなります。

ノンインタレースフリッカーフリー表示

走査方法はノンインタレース表示と同じですが、走査周波数をさらに高くして発生するフリッカーを最小限に抑えて、快適な画面表示を行う方式です。ご使用のディスプレイがこの方式で表示可能なら、この方式を選択しましょう。

フリッカー

画面のチラツキをいいます。画面上のあるドットを光らせたとします。次にそのドットを光らせるまで光っていてほしいのに、その光が消えてしまったとします。すると、「光らせる→光らせる＝ずっと光っている」となるところが、「光らせる→消える→光らせる」となり、点滅したような状態になります。この点滅が、人間の目から見るとちらついている、つまり、フリッカーが発生しているということになります。

走査周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり、画像が表示されるという意味です。走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のちらつきが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

付録3 ハードウェア仕様

ここでは、LCD-D15Tのハードウェアの仕様について説明します。

●[液晶ディスプレイ]

液晶ﾊﾟﾈﾙﾀｲﾌﾟ	15インチTFT※
ﾊﾟﾜｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ	VESA DPMS互換
電源	AC100V
最大解像度	1024 x 768(XGA)
ドットピッチ	0.297mm(水平) x 0.297mm(垂直)
表示色	最大26万色(ディザリング使用時は1,677万色)
可視角度	水平方向: ±60°(最低)、垂直方向: ＋50°,-70°(最低)
傾斜	+20°,-5°
コントラスト比	250:1
輝度	200cd/m^2
応答速度	50ms
表示画面サイズ	304.128mm(水平) x 228.096mm(垂直)
寸法(幅x奥行x高さ)	38.0cm x 17.0cm x 37.65cm
使用温度条件	動作時: 0℃～+35℃、収納時:-20℃～+60℃
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）
重さ	5.2kg(液晶ディスプレイのみの場合)
消費電力	25W（USB使用時最大35W） パワーセーブ時6W（USB使用時16W）
USB	USB バージョン1.0準拠、フルスピードUSBサポート、ローカル電源供給
スピーカー	0.5w ＋ 0.5w

※ 液晶ディスプレイ上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合がありますが、故障あるいは不良ではありません。ご了承ください。

●[デジタルインターフェイスボード]

バスインターフェイス	**PCI**
ビデオメモリ	**4Mバイト**
使用I/Oポート (VGAモード時のみ)	**PCIシステムによる自動設定 (3Cxh,3Dxh,46E8h　xは0h～Fh)**
IRQ	**未使用**
BIOSアドレス	**C0000h固定**
同期信号	**TTLレベル(負極性/正極性)**
映像信号	**アナログRGB　0.7Vp-p,入力インピーダンス 75Ω**

液晶ディスプレイの解像度

解像度	640×480	800×600	1024×768
最大表示色	ﾌﾙｶﾗｰ	ﾌﾙｶﾗｰ	ﾌﾙｶﾗｰ
走査方式	Ni	Ni	Ni
水平走査周波数(KHz)	48	48	48
垂直走査周波数(Hz)	60	60	60

CRTディスプレイでの解像度

解像度	640×480			800×600			1024×768			
最大表示色	ﾌﾙｶﾗｰ			ﾌﾙｶﾗｰ			ﾌﾙｶﾗｰ			
走査方式	Ni	NiFF		Ni	NiFF		i	Ni	NiFF	
水平走査周波数(KHz)	31	37	43	38	47	53	36	48	60	69
垂直走査周波数(Hz)	60	75	85	60	75	85	86	60	75	85

1152×864				1280×1024				1600×1200			2048×1536	
ﾌﾙｶﾗｰ				ﾊｲｶﾗｰ				ﾊｲｶﾗｰ			256	
Ni	NiFF			i	Ni	NiFF		i	Ni	NiFF	i	Ni
54	65	71	80	46	64	75	80	63	75	87	71	95
60	70	75	85	86	60	70	75	96	60	70	88	60

ﾌﾙｶﾗｰ　：1,677万色
（液晶ディスプレイでは、ディザリング未使用時26万色 ）
ﾊｲｶﾗｰ　：32,768色

走査方法　　NiFF：ノンインタレースフリッカーフリー
Ni　：ノンインタレース
i　：インタレース

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所 〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-D15T」係　宛

■FAX

FAX番号 本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-D15T」係　宛

■電話

電話番号 本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間 9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン (パソコン通信)

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター
NIFTY-Serve	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS－NET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。
(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ10(LIB 10)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-D15T」　バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-D15T」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

LCD-D15T
取扱説明書
1998.Apr.14　8824-02
発　行　　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

Verシール

ここにVerシールをお貼りください。